

PKSHA
ASSOCIATES

AIで加速する
RPAロボオペレータ
医療機関DX

株式会社 PKSHA Associates



水野 博隆 (代表取締役)

大学卒業後大手SIerを経てアクセンチュアに入社、大規模なERPプロジェクトの導入とBPOプロジェクトの立ち上げフェーズを経験

2015年にアシリレラ(現:PKSHA Associates)を立ち上げ、現在のロボオペレータを開発

2023年に現職に就任。ビジネスの拡大に注力しながら、将来を見据えたプロダクトの作成・より良い組織づくりに取り組んでいる

PKSHAグループ概要



社名	株式会社 PKSHA Technology
英文名	PKSHA Technology Inc.
所在地	東京都文京区本郷 2-35-10 本郷瀬川ビル
代表者	代表取締役 上野山 勝也
創業	2012年10月
事業内容	アルゴリズムライセンス事業
社員数	652人(連結) 2024年6月現在
グループ会社	株式会社 PKSHA Associates 株式会社 PKSHA Infinity 合同会社 PKSHA Technology Capital 株式会社アイテック 株式会社トライアンフ 株式会社エクストーン

代表取締役/技術顧問

代表取締役

上野山 勝也 / Katsuya Uenoyama

- ・ 外資系大手コンサルティングファームの東京/ソウルオフィスにてBI業務に従事。
- ・ 松尾研究室にて博士（機械学習）取得後、2012年、PKSHA Technology 創業。松尾研究室 助教を経て、現在代表取締役。
- ・ 2020年、世界経済フォーラム（ダボス会議）の「ヤング・グローバル・リーダーズYGL 2020」の一人に選出。
- ・ 日本政府の政策検討委員会の委員/アドバイザーを多く務める（デジタル市場競争会議、AI社会実装アーキテクチャー検討会）

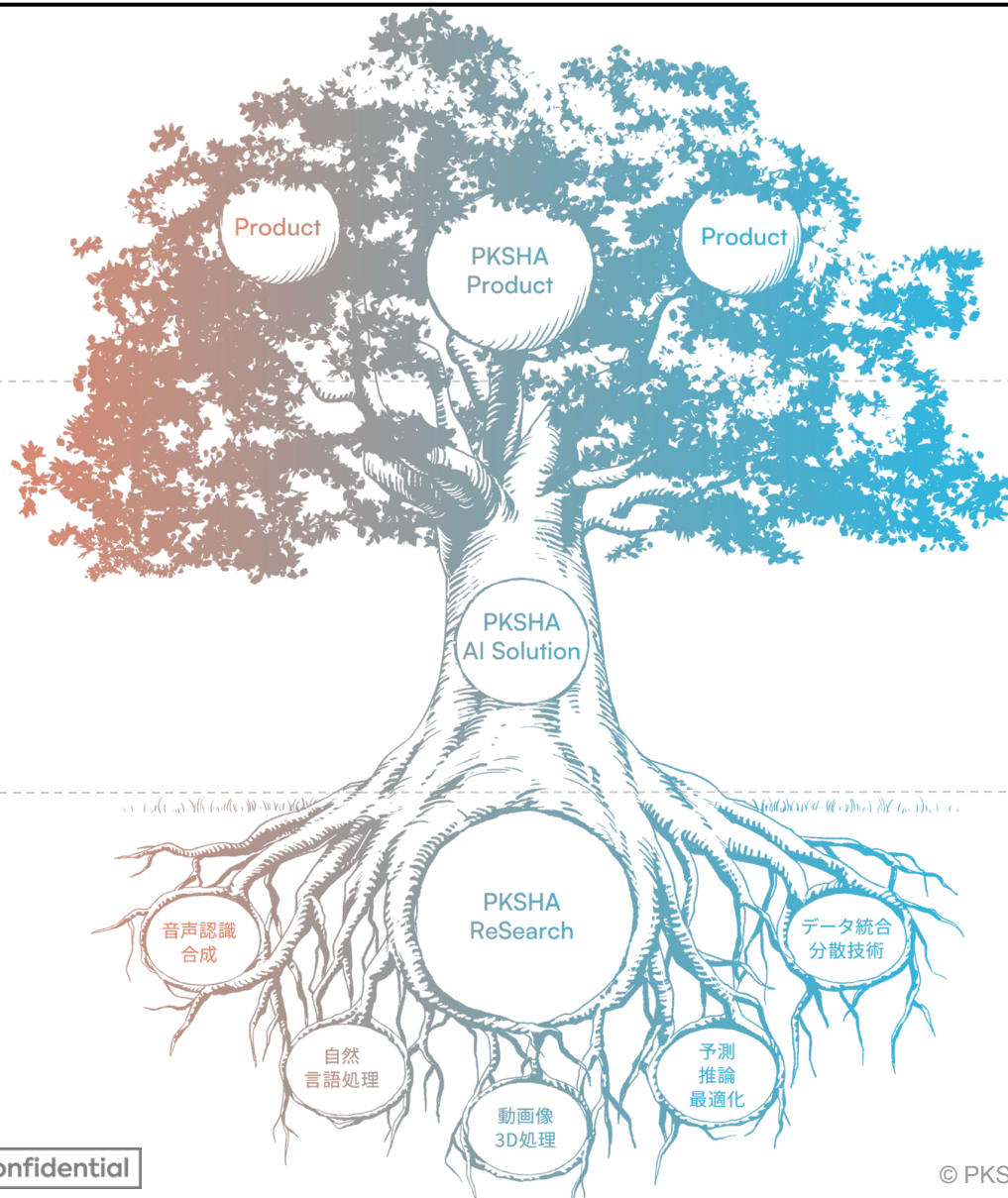
技術顧問

松尾 豊 / Yutaka Matsuo

- ・ 1997年 東京大学工学部電子情報工学科卒業。2002年同大学院博士課程修了、博士（工学）。
- ・ 2005年10月よりスタンフォード大学客員研究員。
- ・ 人工知能学会、情報処理学会、AAAI 各会会員。
- ・ 2014年7月より、弊社技術顧問に就任。



近未来のソフトウェアを実装し続ける PKSHA の3事業



Layer 2

PKSHA AI SaaS (パッケージ型)

カスタマーサクセス/ エンployeeサクセス領域における、AI SaaS事業の開発・販売。

組織：主に事業会社&SaaS企業出身のBiz & SWE

Layer 1

PKSHA AI Solution (カスタマイズ型)

各アルゴリズムの研究開発を各企業の課題や目的に合わせてソリューション化し提供。

組織：主にコンサル出身のBiz & SWE

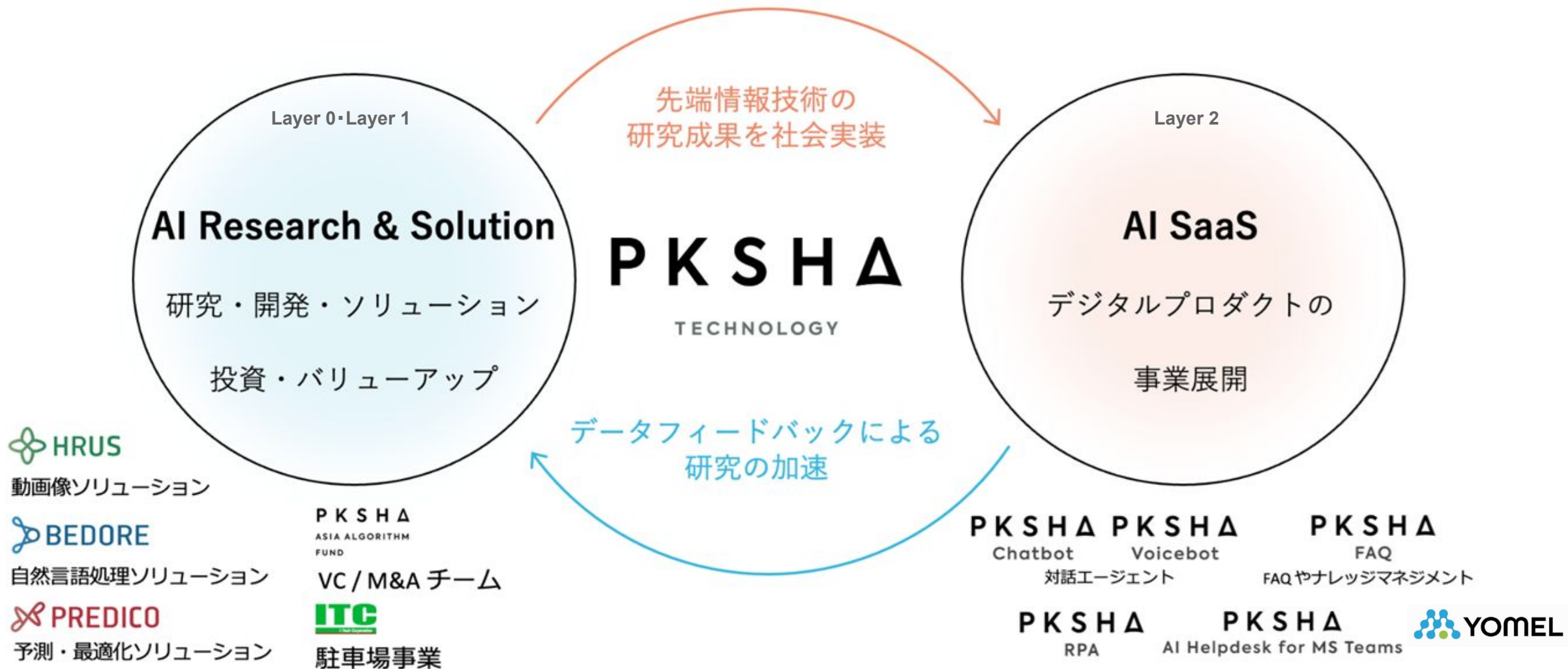
Layer 0

PKSHA AI Research(研究開発したAIを..)

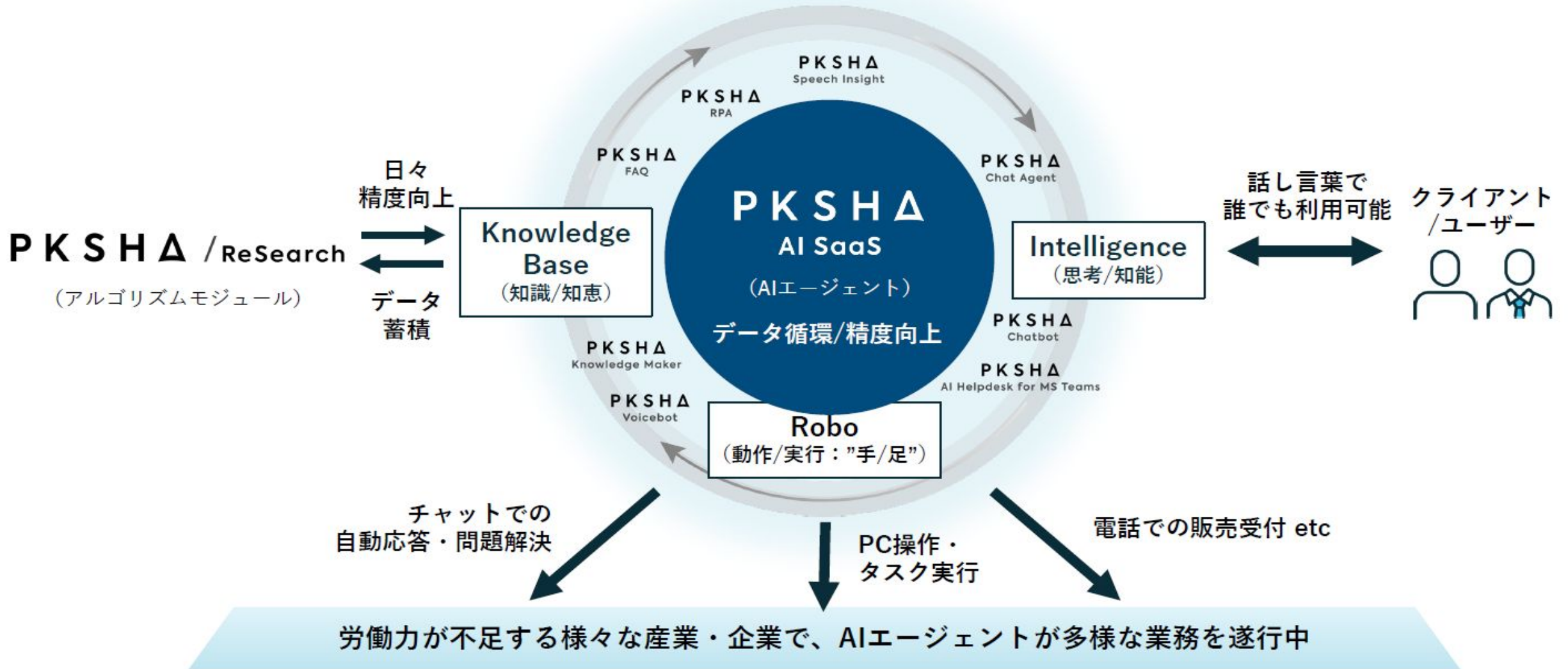
様々な企業と研究室と連携し、先端情報技術とその社会実装の方法、その先にある未来社会のあり方を探究。

組織：主に大学院&研究所出身のAlgorithm Engineer

共進化する2つの事業を通じて未来のソフトウェアを社会に広く浸透させる

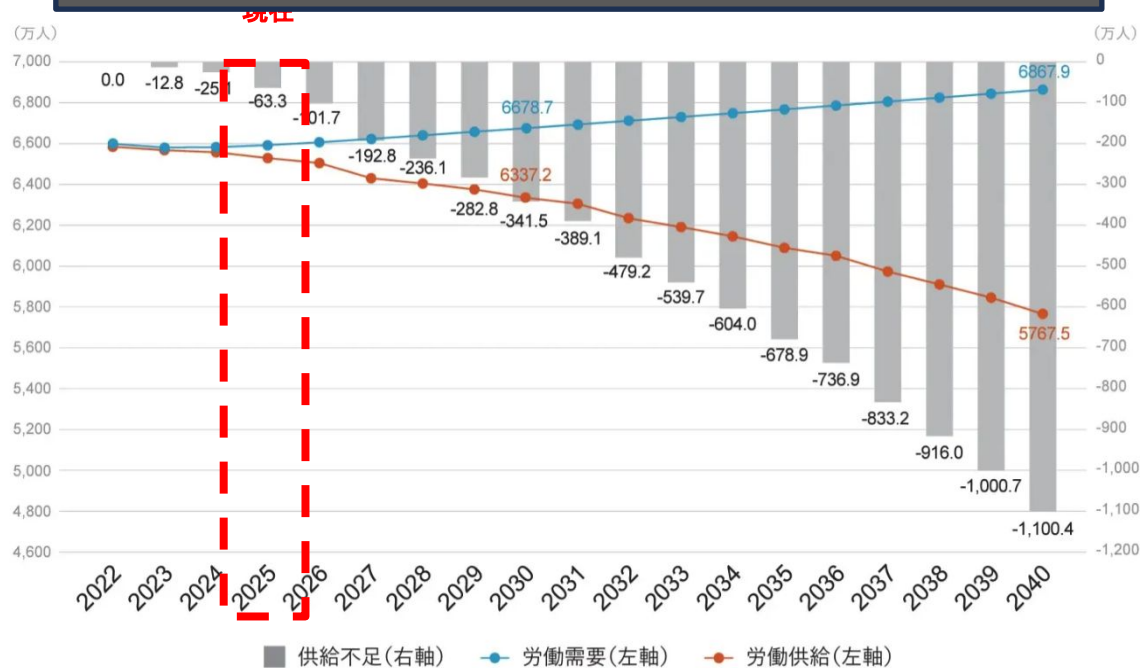


PKSHA AI SaaS: 話し言葉で誰もが使えて様々な業務をこなす社会へ



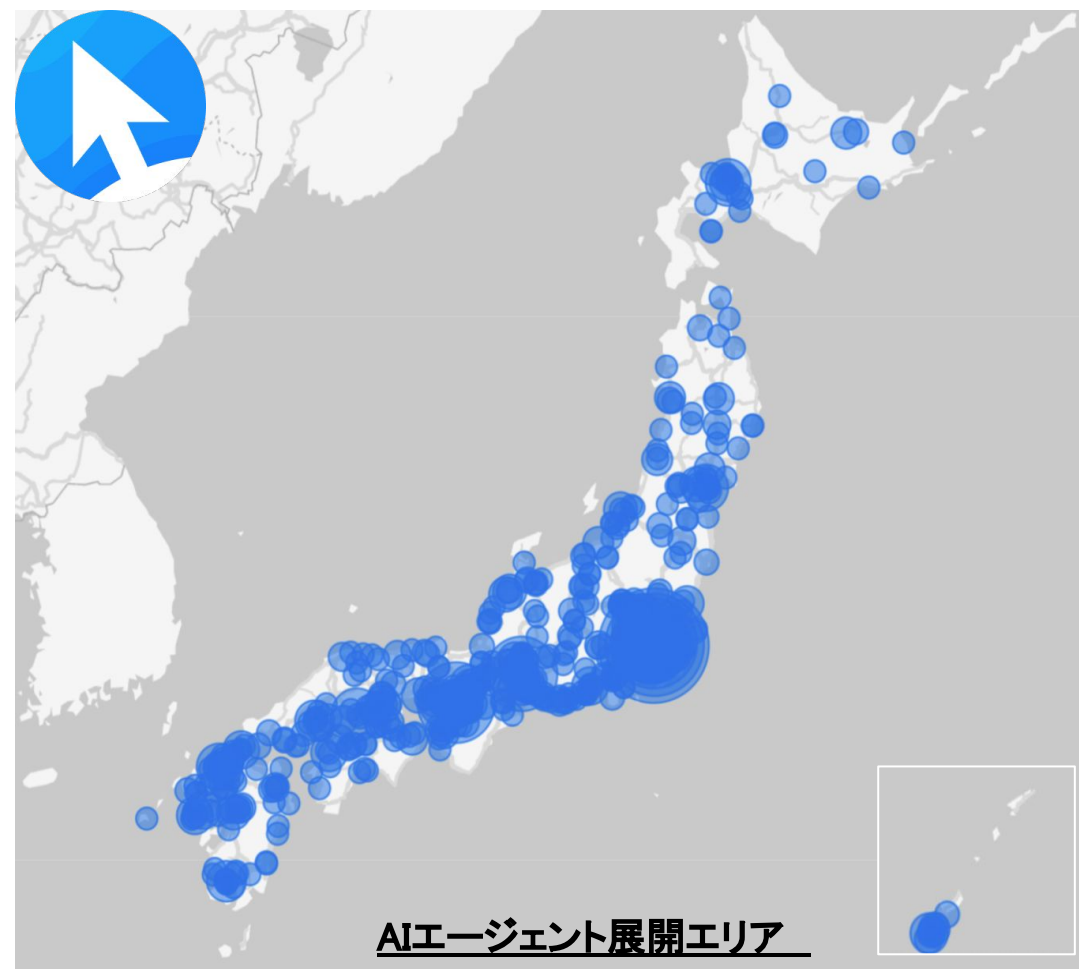
人と対話し、共進化する AI の「数」×「質」×「種」を増やし 日本の人口不足の課題を解決することを目指す

深刻な人材不足は拡大し続ける



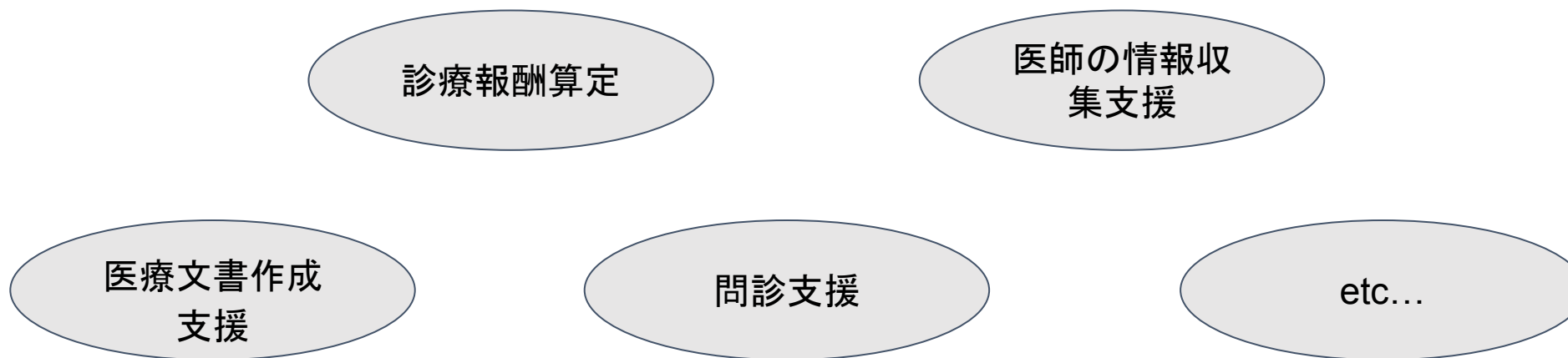
労働需給シミュレーション

解決策としてのAIエージェント 「ロボオペレータ」が全国7,000体以上稼働中



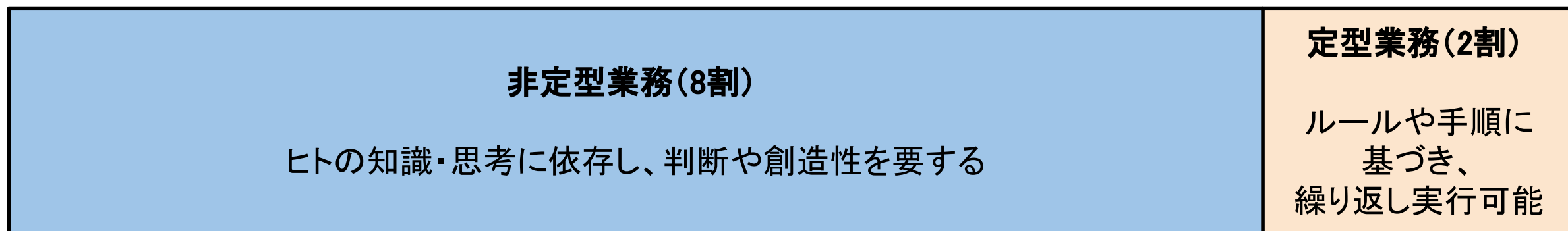
医療現場でAIを活用する方法

AIエージェントは、医療現場にも到達



ただし、
導入すること ≠ 成果が出ること

非定型業務の支援・効率化が期待されているが ...

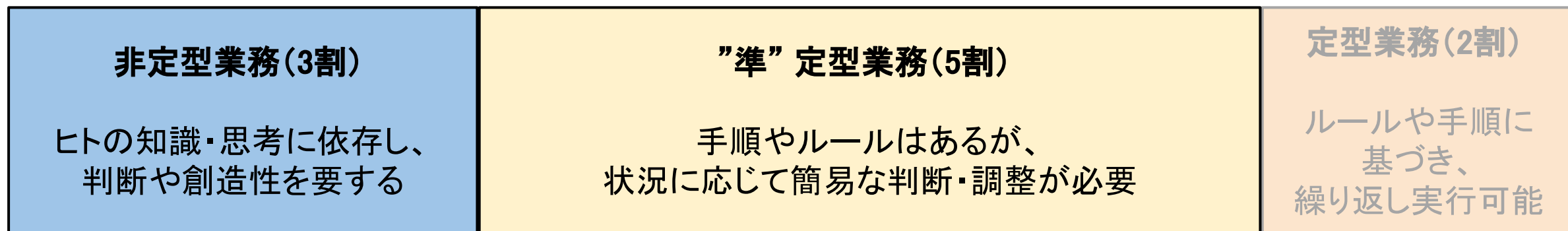


AIエージェントに
期待されている範囲

RPAの
守備範囲



主な成功事例は(まだ)一部に集中している



● **期待通り!** ——— **はて…?** ———➔

← RPAの
守備範囲 →

企画、調査、デザイン…

ボリュームゾーンたる“準”定型業務は、制約条件だらけ

非定型業務(3割)

頻出部署

企画、調査、デザイン…

業務範囲

部署ごとに完結傾向

業務環境

クラウドサービスが主流

”準”定型業務(5割)

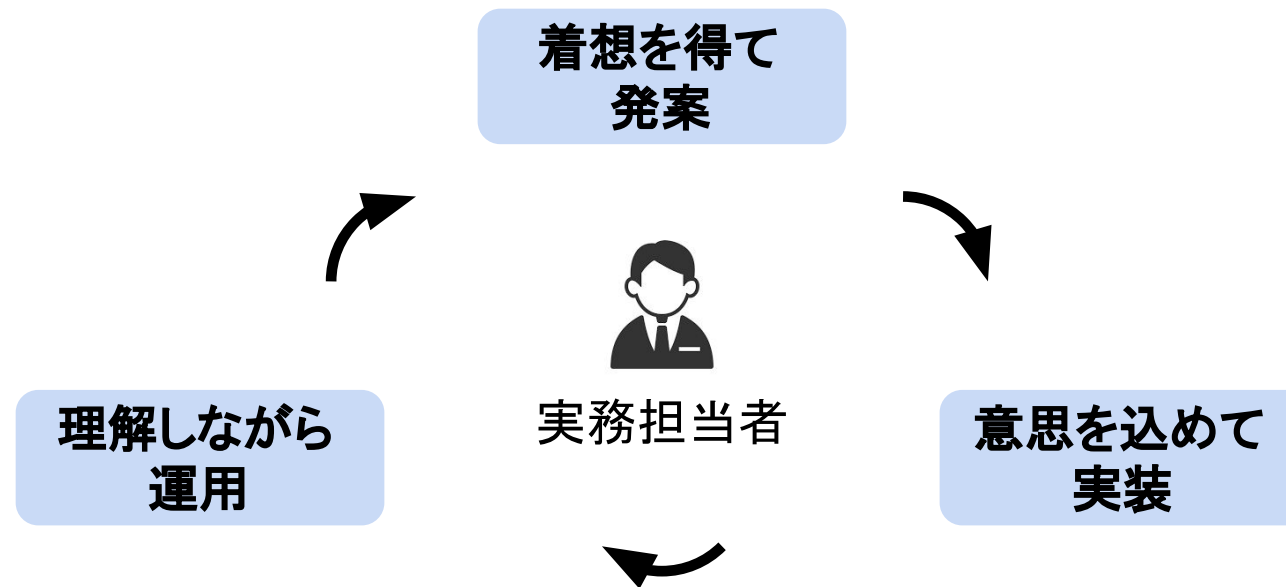
経理、営業事務、人事労務、総務…

社内外との連携・決め事だらけ

既存業務システムとも緊密
(含レガシーや内製ツール)

簡単には変えられない現場オペレーション における用途開拓こそが、**真の課題**

現場における用途開拓は、実務担当者が主役



… コレができるなら、はじめから苦労しない？

ロボットが支える新しい働き方。 現場業務の自動化なら ロボオペレータ®

実務担当者様が、オフィスのパソコン業務を自分で改革

導入実績 **2,500** 社

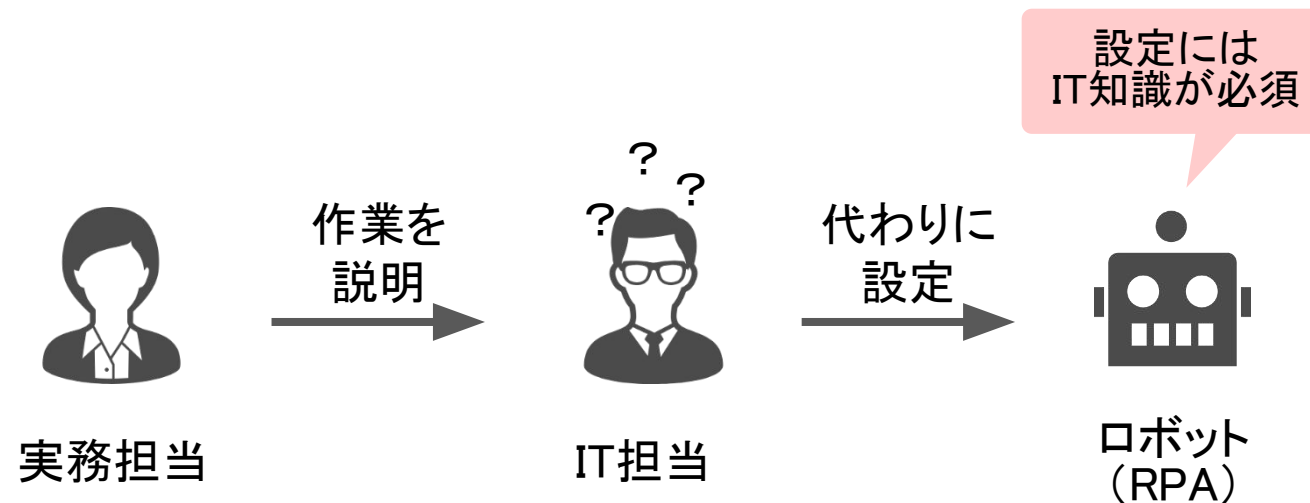
アクティブ
ライセンス **7,000** 本以上*

*2024年11月時点実績。本契約分のみ。



一般的なRPAの作成方法

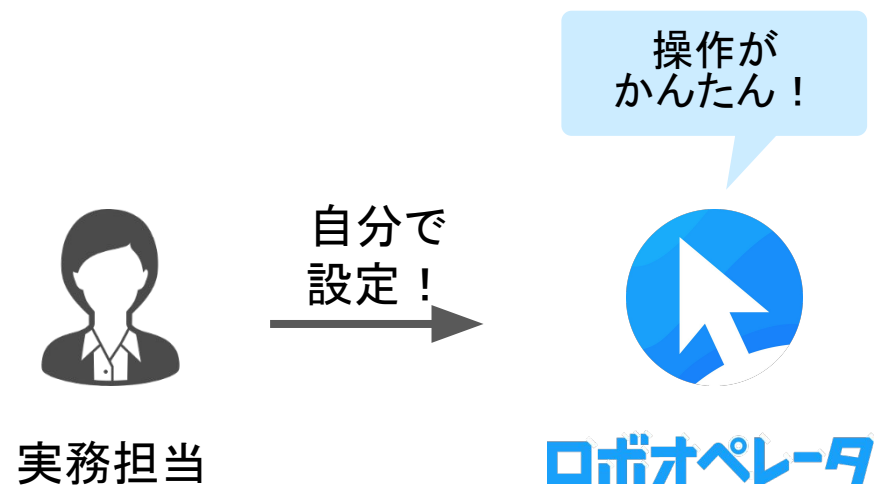
RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)
= オフィスの定型業務をパソコン内のロボットに引き継ぐこと



でも、うまく導入が進まないケースも多数。
最大の原因は、“誰かに代わりに設定してもらおう” こと

ロボオペレータ[®]なら

操作がとにかくかんたん。実務の担当者様ご自身で設定・修正できます。



大企業から中小企業まで、2,500社で稼働。
ユーザ様の約70%は、実務担当者様(非IT部門)です*

* 2023年6月時点実績。無償トライアル除くアクティブライセンス数。非IT部門の例: 経理・財務、人事・総務、営業・マーケ、購買・調達 等

直感的な設定方法

画像認識機能により、“いつもの操作手順”をそのまま引き継ぐことができます。

① 画像を発見

② マウス・キーボードを操作

クリック

アイコンを見つけて、



その中心をクリック



文字入力

項目を見つけて、

受注伝票登録

受注番号

受注先

その隣をクリックし、

受注伝票登録

受注番号

受注先

キーボードで文字
入力

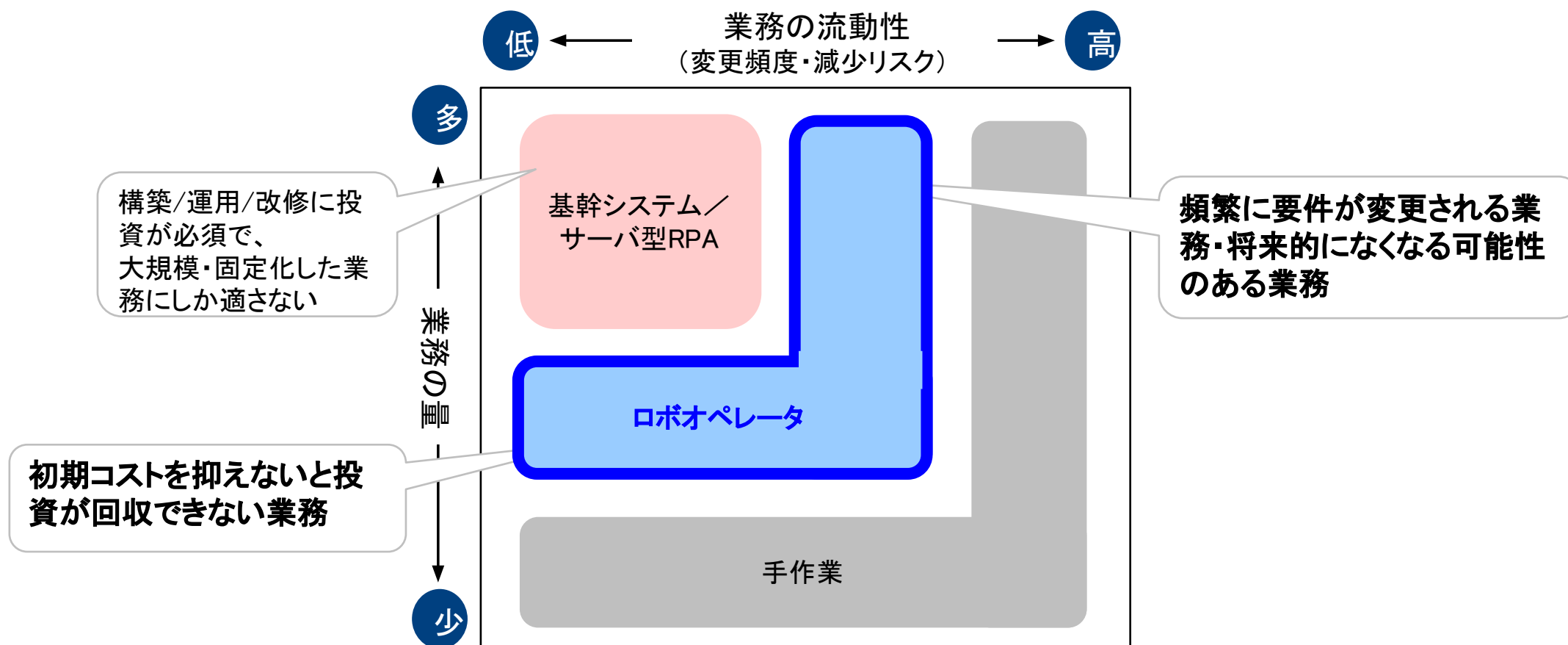
受注伝票登録

受注番号

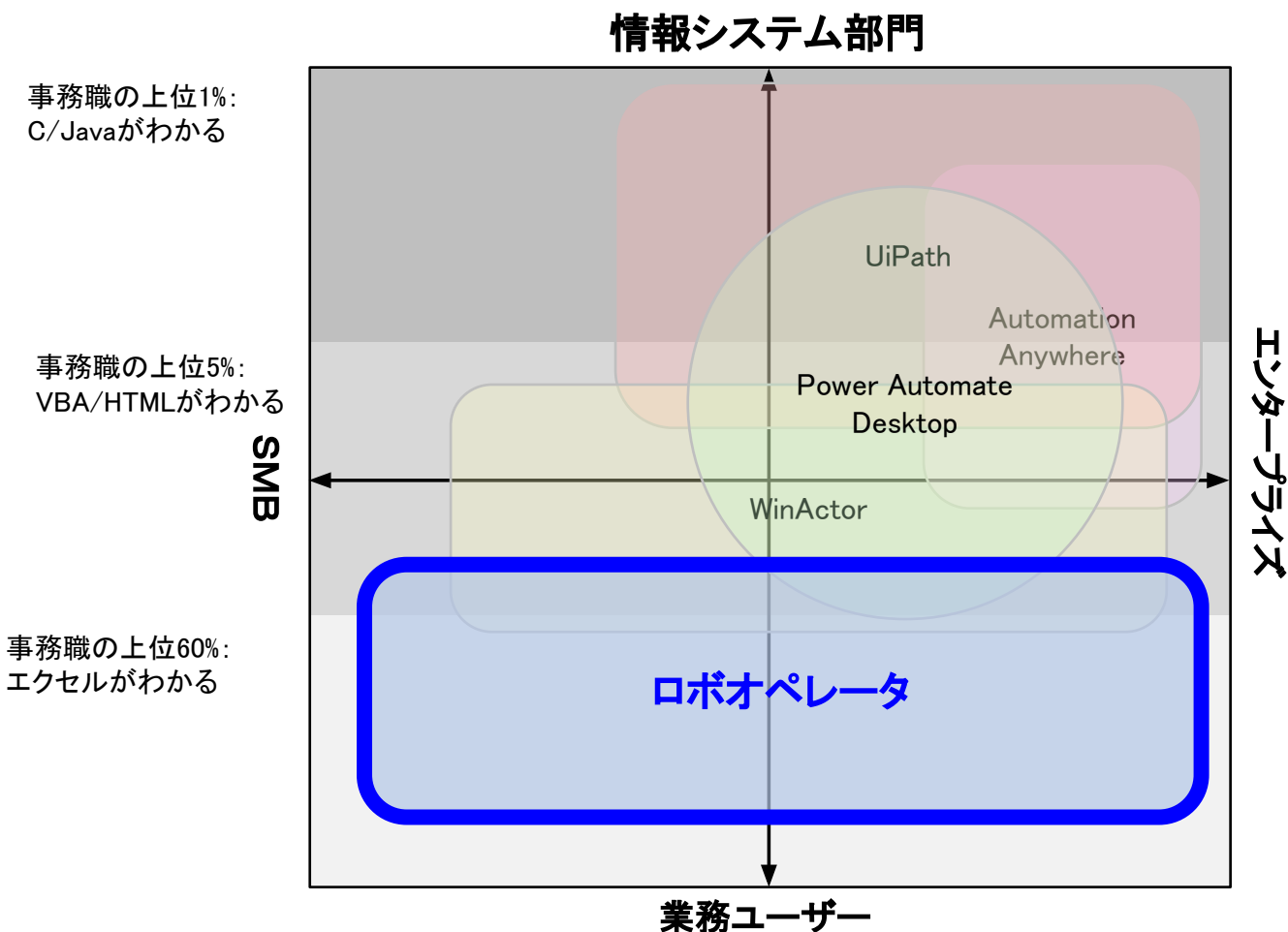
受注先

ロボオペレータは業務の変更に柔軟・細かい業務まで拡大可能

現場主導でRPAを推進することで、ERPやサーバー型RPAが適用できない、業務量が比較的小さい・流動的な業務まで自動化範囲を広げることができます



ロボオペレータは現場主導のDXを進められるRPAです



開発ベースのRPAツール (UiPath, WinActorなど)

導入・運用部門: **情報システム部門** がメイン

得意なロボット: **システム間データの自動連携**

サポート: **システムサポート** 的な内容

ロボオペレータ

導入・運用部門: **現場部門** がメイン (全体の7割)

得意なロボット: **現場の手元業務の自動化**

サポート: **各現場担当者** のためのサポート

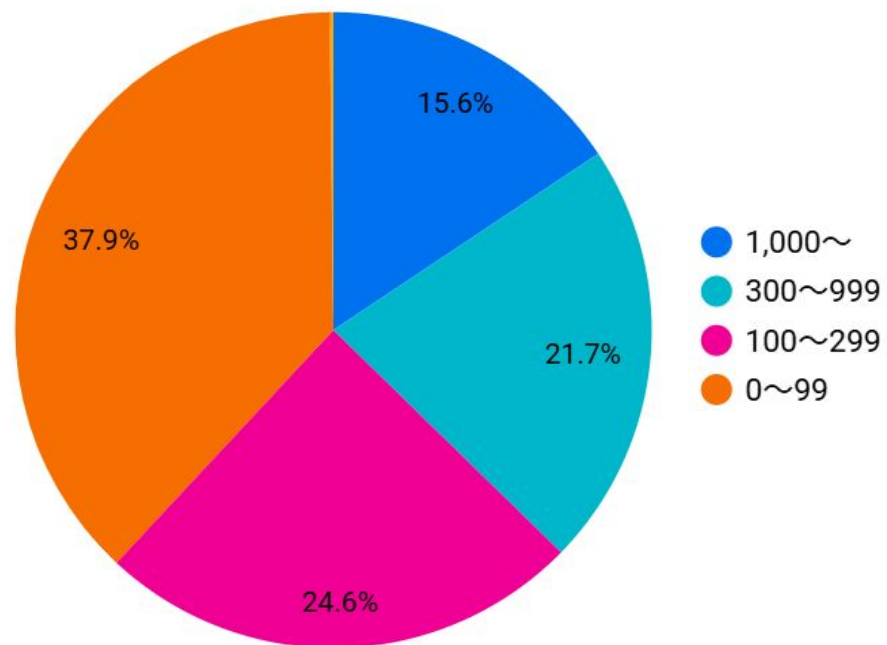
現場向けRPA「ロボオペレータ」で、
現場主導のDXを進めることができます



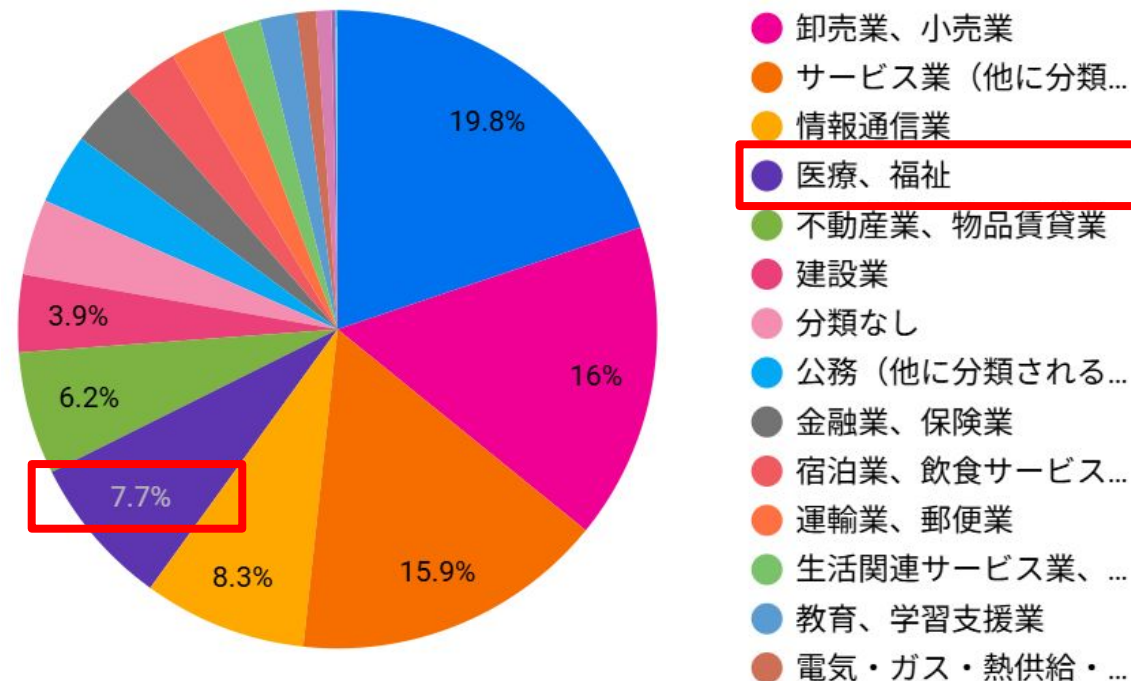
ロボオペレータは多くの中堅・中小企業に展開中

導入企業全体の約60%以上が中堅企業様(従業員100名-300名)・中小企業様(従業員100名以下)の、製造・卸/小売り・サービス業(士業, BPOなど)・不動産業・病院など幅広い業種で利用されています。
医療・福祉の分野では全体の約8%(約200法人)でご利用いただいております。

従業員規模分布



導入企業分布



※2025年6月時点での導入企業に対する利用企業の分布となります

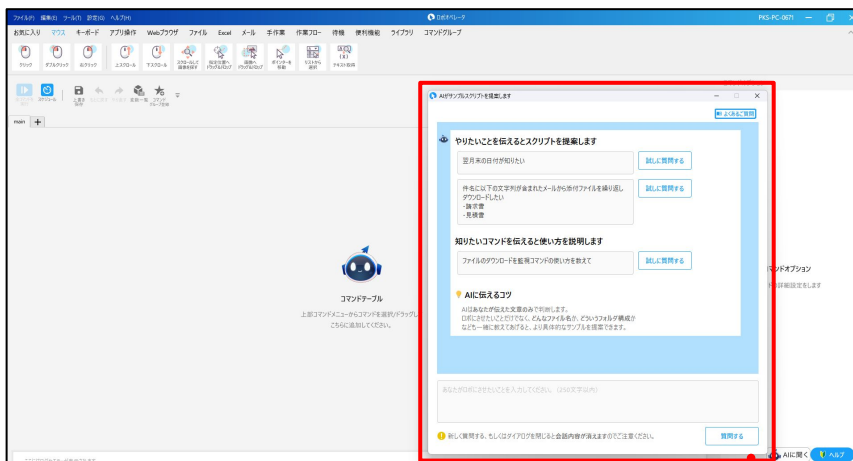
ロボオペレータ AIオプション追加

これからのロボオペレータは、「RPA」「AIオプション」の2つの要素から構成されます

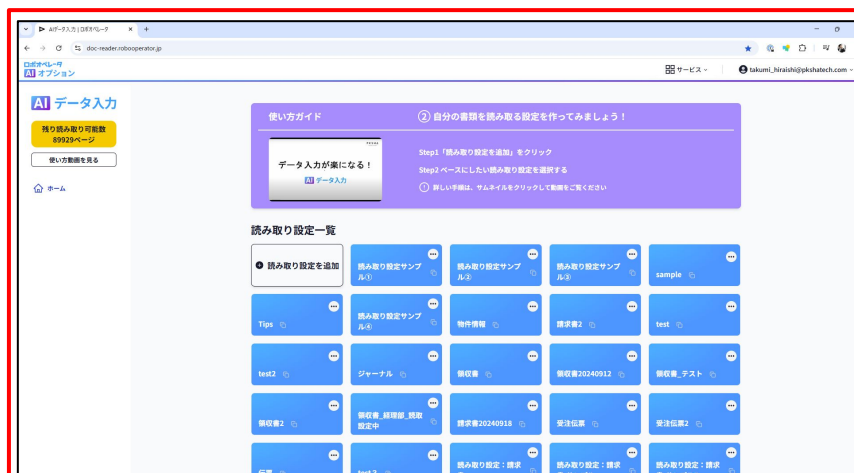
RPA
つかいやすい業務自動化ソフトウェア



AIオプション
最新AI技術をフル活用した拡張機能群



オンプレ型ソフトウェア



クラウド型ソフトウェア

従来RPAでは不可能だった
新たな領域を効率化する機能群

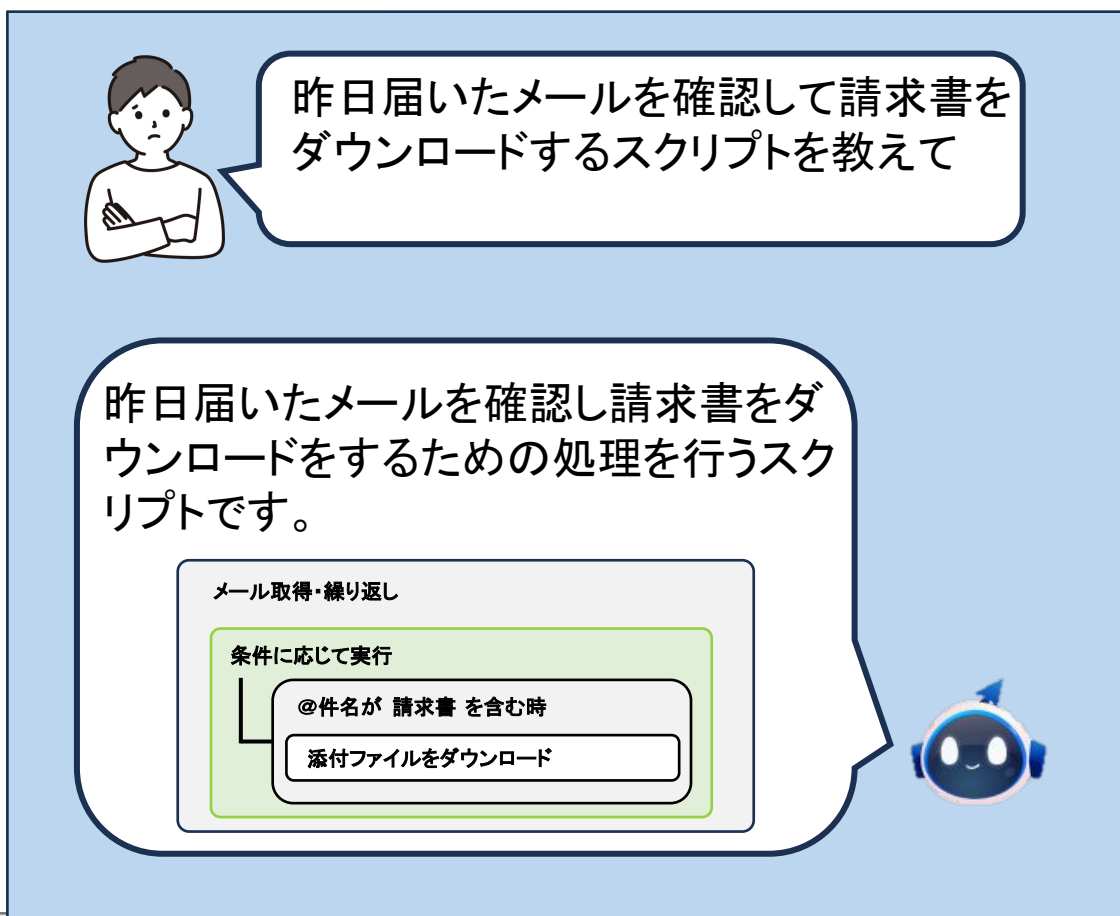
- AIデータ入力
- AI議事録(仮)
- AIリマインド(仮)
- ...

RPAの作成・運用保守を
劇的にラクにする機能群

- AIアドバイザー
- AIコマンド要約(仮)
- AIコマンド作成(仮)
- ...

② RPAを劇的に使いやすくする機能 第1弾「AIアドバイザー」

チャット形式で入力した要望に基づき、スクリプト(コマンド群)を提案する拡張機能。
やりたいことを簡単な言葉で説明するだけで、すぐに使える設定例が生成されます



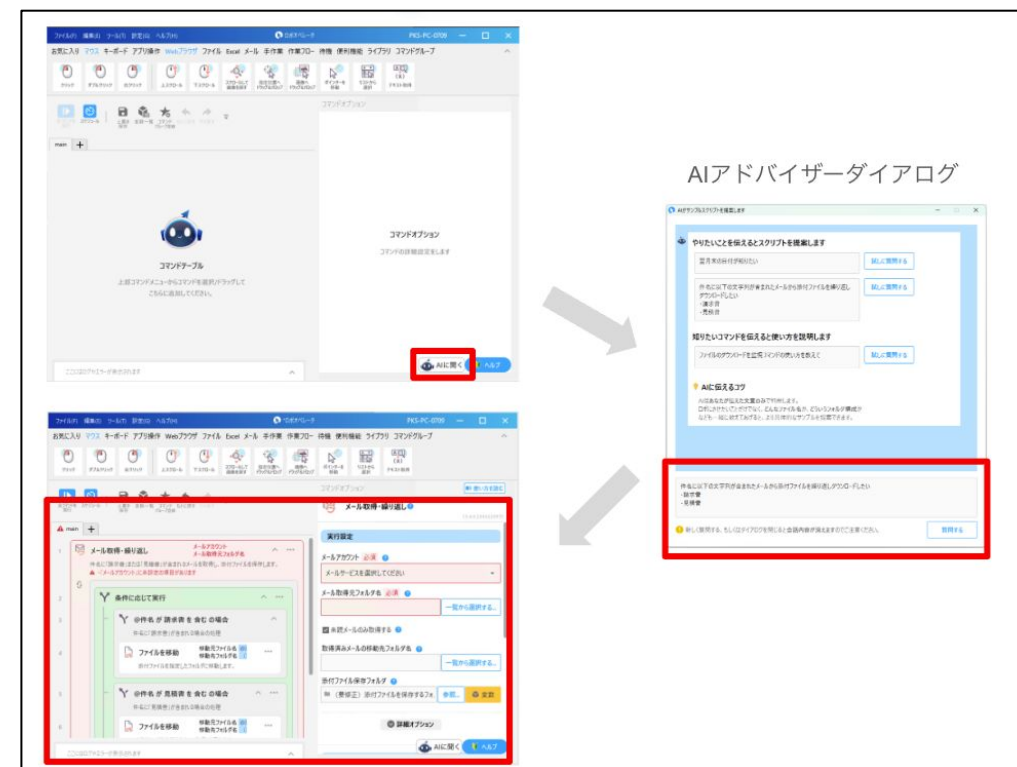
昨日届いたメールを確認して請求書をダウンロードするスクリプトを教えてください

昨日届いたメールを確認し請求書をダウンロードをするための処理を行うスクリプトです。

メール取得・繰り返し

条件に応じて実行

- @件名が 請求書 を含む時
- 添付ファイルをダウンロード



AIアドバイザーダイアログ

AIアドバイザーの機能紹介

やりたいことを伝えるスクリプトを提案します

任意の条件を設定したい場合は、条件設定ボタンをクリックしてください。

実行するコマンドは、AIアドバイザーが自動的に生成します。このコマンドは、RPAの機能に基づいて生成されています。

AIに伝える方法

任意の条件を設定したい場合は、条件設定ボタンをクリックしてください。

実行するコマンドは、AIアドバイザーが自動的に生成します。このコマンドは、RPAの機能に基づいて生成されています。

画面イメージ

PKSHA AI Agents



議事録作成AIエージェント

会議の書き起こしを実施し、まとめて議事録を作成します。



営業サポートAIエージェント

営業担当向けに、担当の商材の細かい特徴や提案のポイントなどの提供を行い営業をサポートします。



面接AIエージェント

人になり求職者の一次面接などを代行します。実施した面接に対しては、AIエージェントなりの評価も行います。



ナレッジ管理AIエージェント

社内で暗黙知化していたり、属人化しているナレッジを解き明かし、形式知として全社に展開します



業務理解度チェックAIエージェント

事業/商品/サービスの理解をチェックし、必要に応じてラーニングサポートします。



会社概要説明AIエージェント

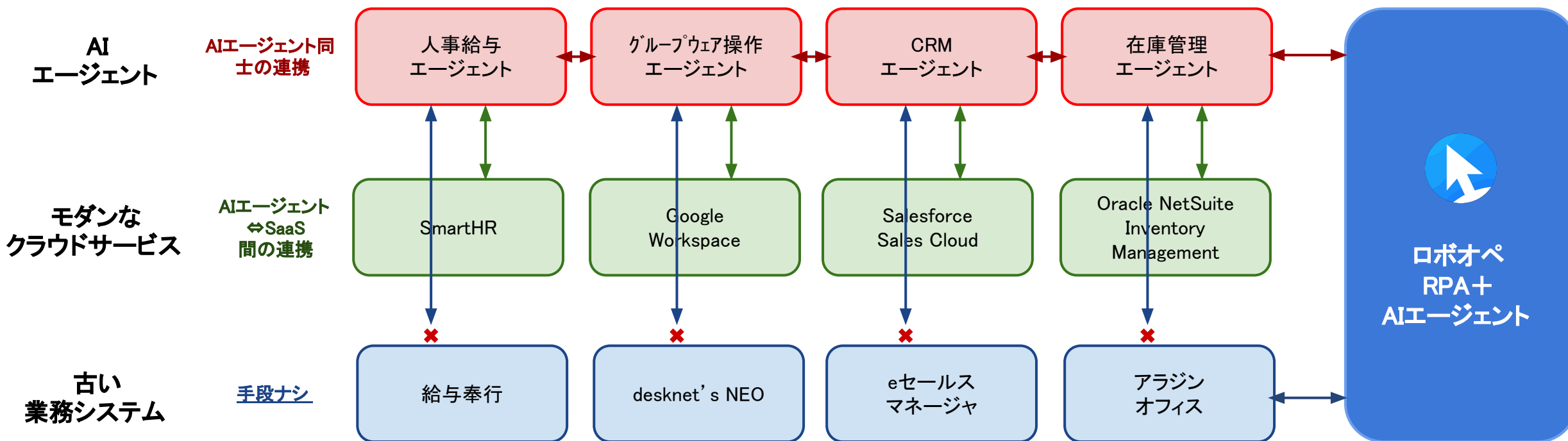
就職希望者/新入社員に対して会社の説明を行います。

PKSHAグループが有するアルゴリズム群をもとに、
続々展開します

AIエージェント + ロボオペレータが目指す未来

AIエージェント隆盛の陰で、古いシステムは置き去り…

ロボが”繋ぎ役”



AIエージェント + ロボオペレータで
全国の実務現場に、AIの利便性を届けます

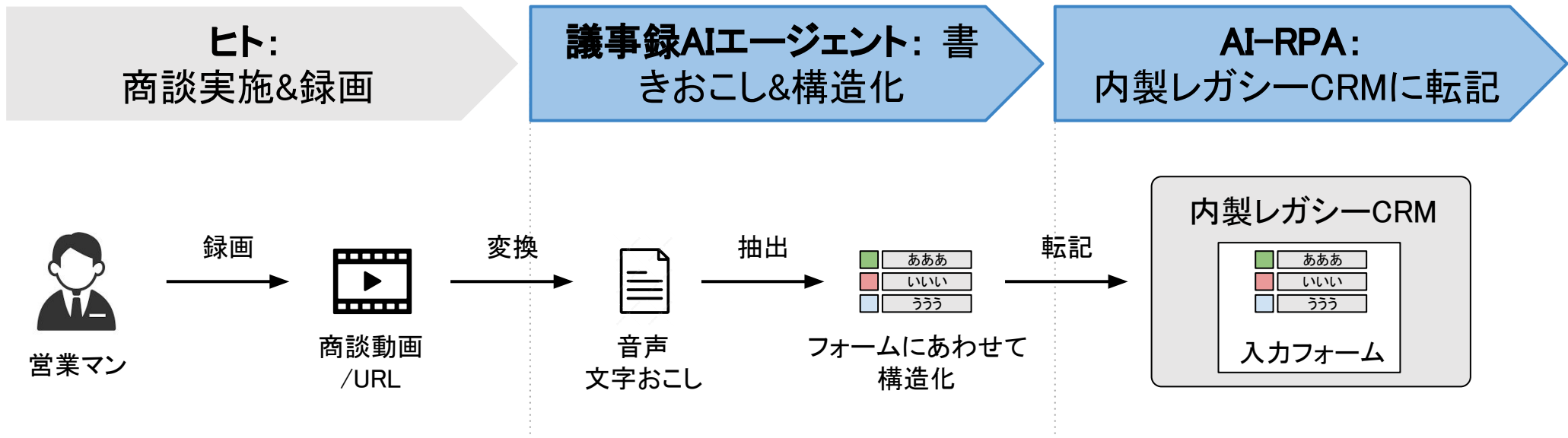
(予告)RPAの設定手段は、更なる洗練へ

AI-OJT方式:「口頭説明しながら手本を示す」という現場の教育スタイルを踏襲

(鋭意開発中...)

ロボオペレータが、現場主導のAI実装を実現

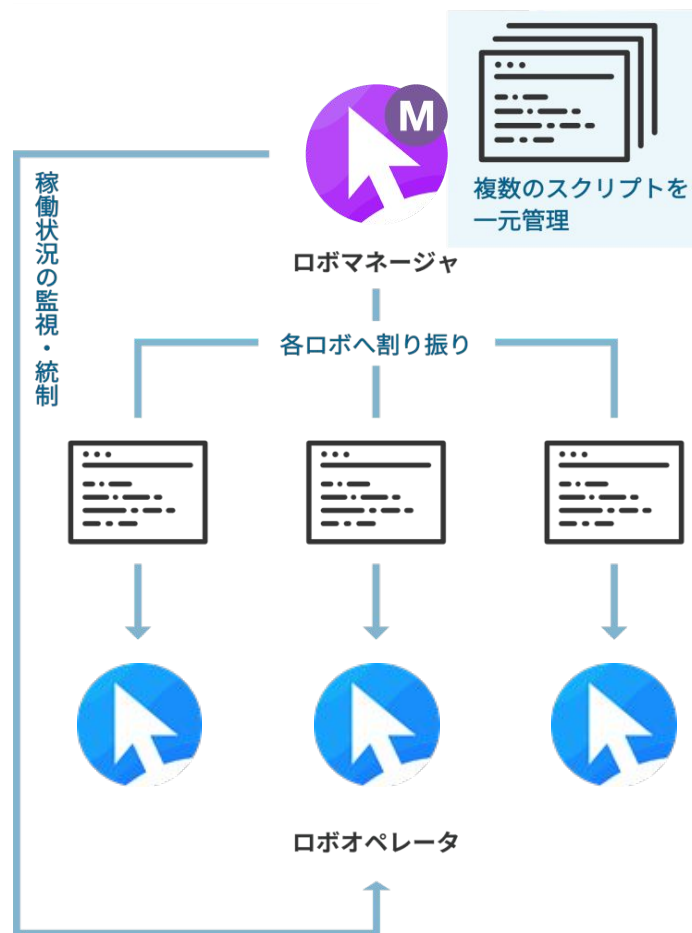
[事例] 商談情報を内製レガシーCRMに連携



現場ユーザー様自らの手で、ここまで発案・実装できる

ロボマネージャ:オフライン環境でも利用可能

ロボオペレータは他のRPAと異なり、完全なオフライン環境でも利用可能なRPA です
 “現場監督” 役となる”ロボマネージャ”を利用することで、ロボを統制し一元管理できます



できること

実行ロボの管理

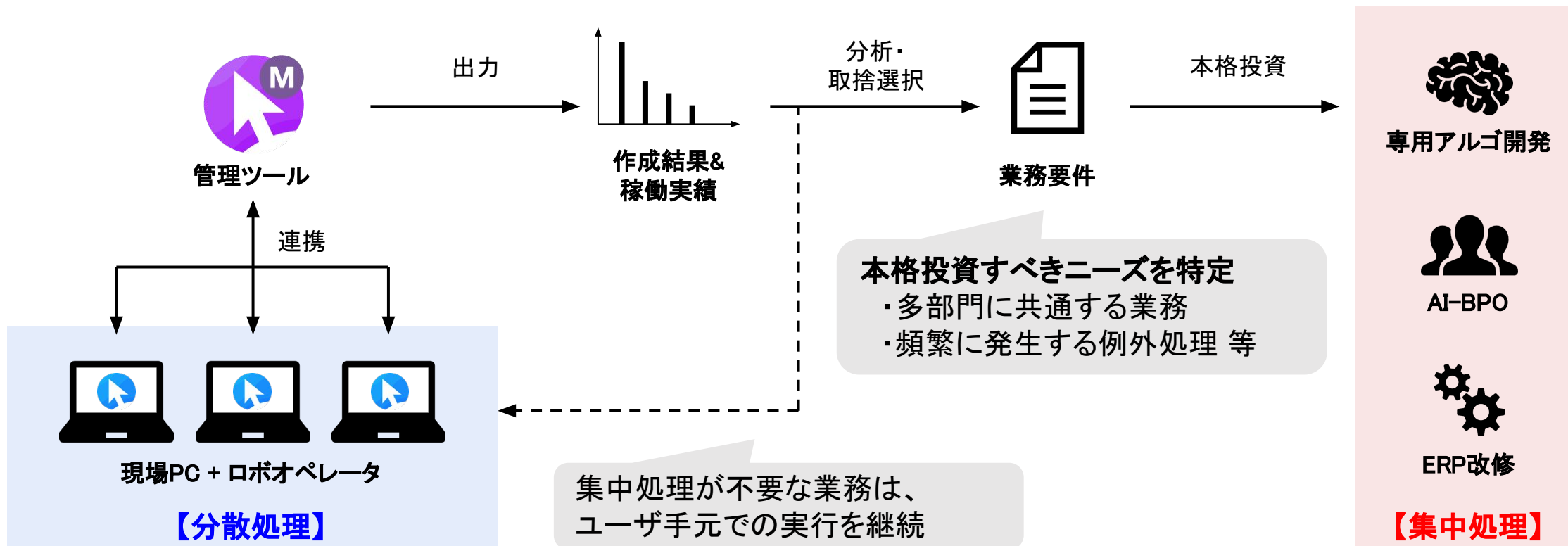
業務割り振り・進捗管理

稼働状況の監視・統制

ライセンス・権限管理

”現場主導型”を通じて、AI投資の最適化へ

現場から生まれたAIエージェント&稼働実績を「目安箱」と位置づけ、真のニーズを発見

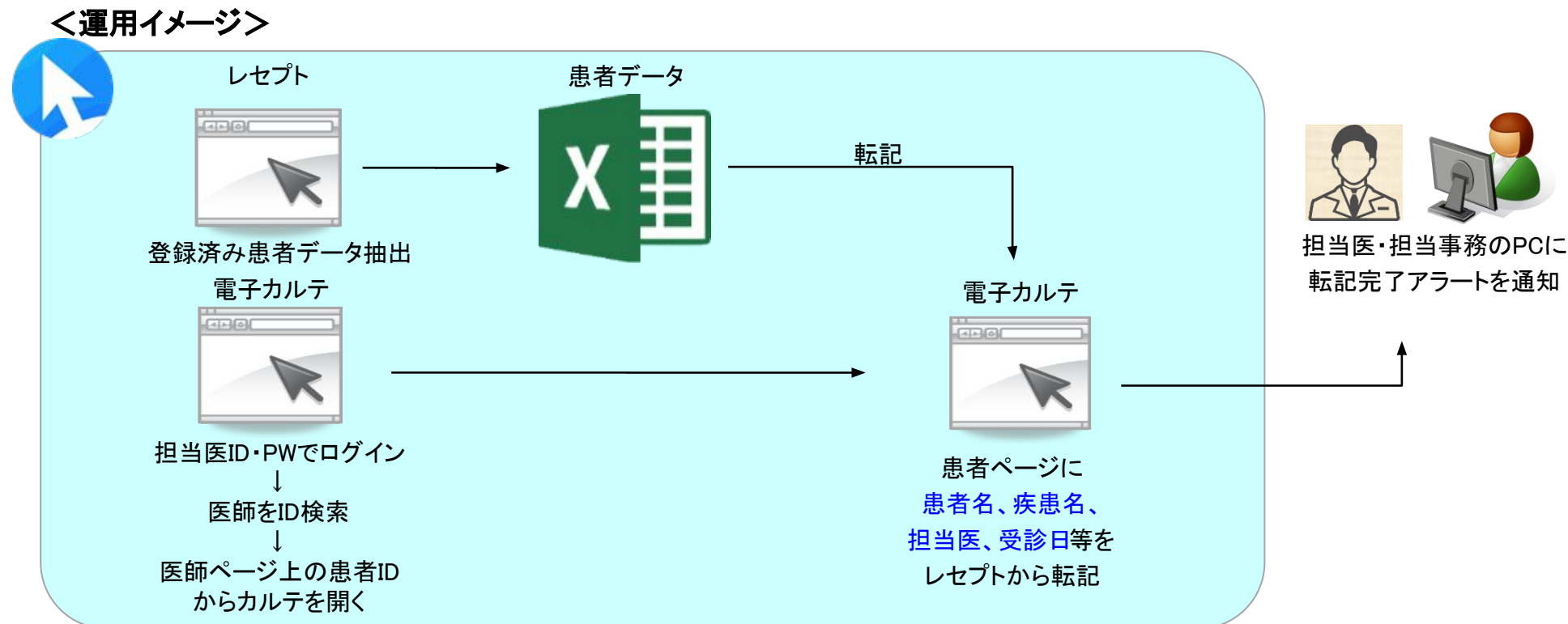


現場ユーザ様が発案・実装できる
ロボオペレータ ならではのアプローチ

医療業界での適用事例

事例(1/5): 電子カルテの入力

電子カルテへの入力を事務職員・担当医が1件1件手作業で行っており、1件当たり数分ほど要していました。
 ロボオペレータで自動化することで、1件当たり1分で電子カルテへの入力登録が完了し、業務負担とミス入力が軽減されました。



削減時間 : 3分 × 50件/日 × 20日/月 = 月間 50時間

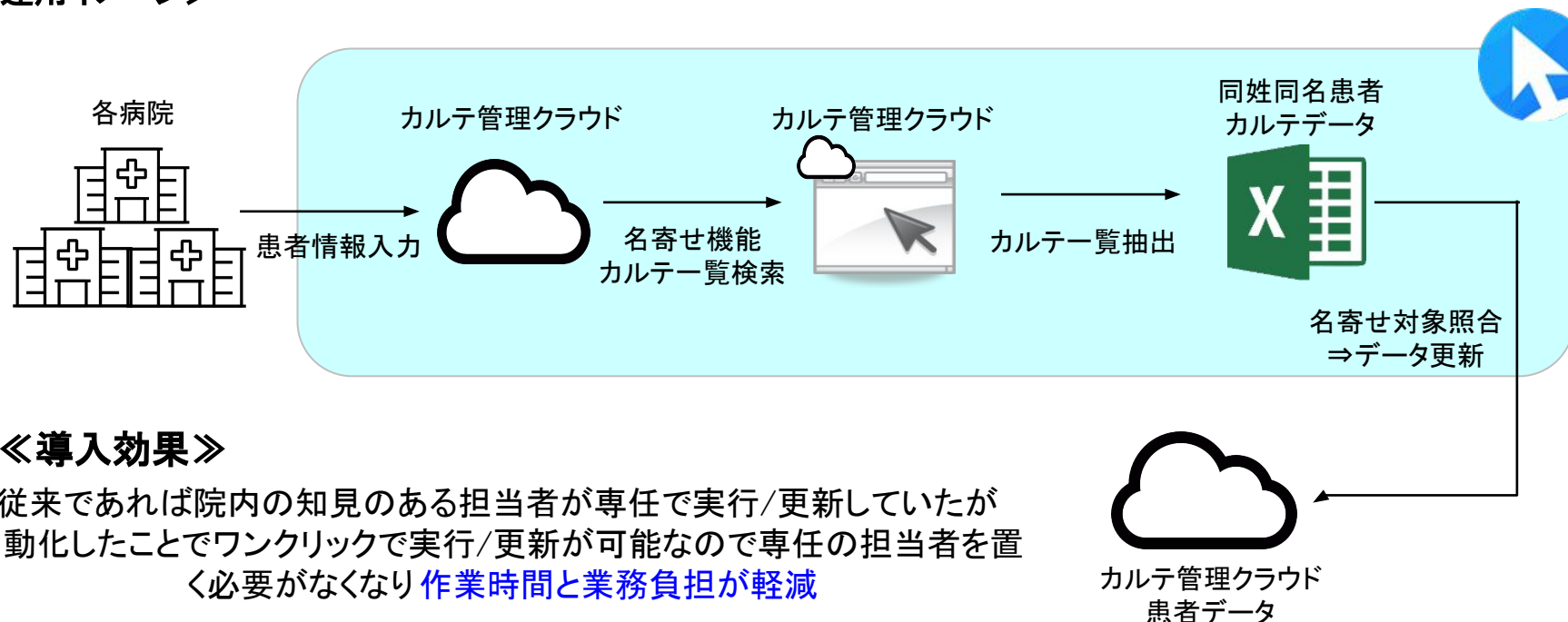
削減コスト: 50時間 × 5,000円/時 = 月間 250,000円 (年間 約300万円)

事例(2/5):カルテの名寄せ作業

某基幹病院では、電子カルテ等の診療情報を共有しており、複数病院のカルテ情報を統合しています。従来は統合時の名寄せを手作業で行っており、大きな工数を割いていました。

ロボオペレータにより名寄せ作業を自動化することで、作業時間を大幅に短縮できました。

<運用イメージ>



《導入効果》

従来であれば院内の知見のある担当者が専任で実行/更新していたが自動化したことでワンクリックで実行/更新が可能なので専任の担当者を置く必要がなくなり**作業時間と業務負担が軽減**

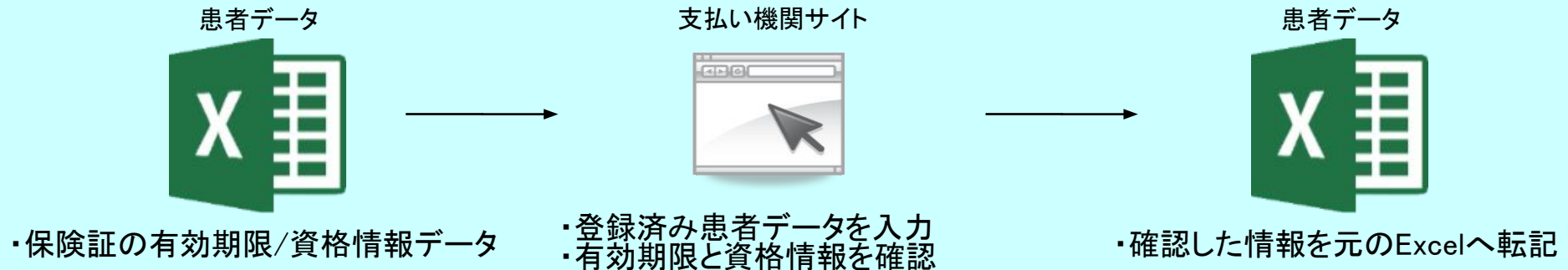
削減時間 : 40時間 × 80% = 月間 32時間

削減コスト: 32時間 × 2,000円/時 = 月間 64,000円 (年間 約77万円)

事例(3/5): 保険証の資格確認

定期的に保険証の有効期限や資格情報を、支払い機関のサイトへ接続して自動で確認します。

<運用イメージ>



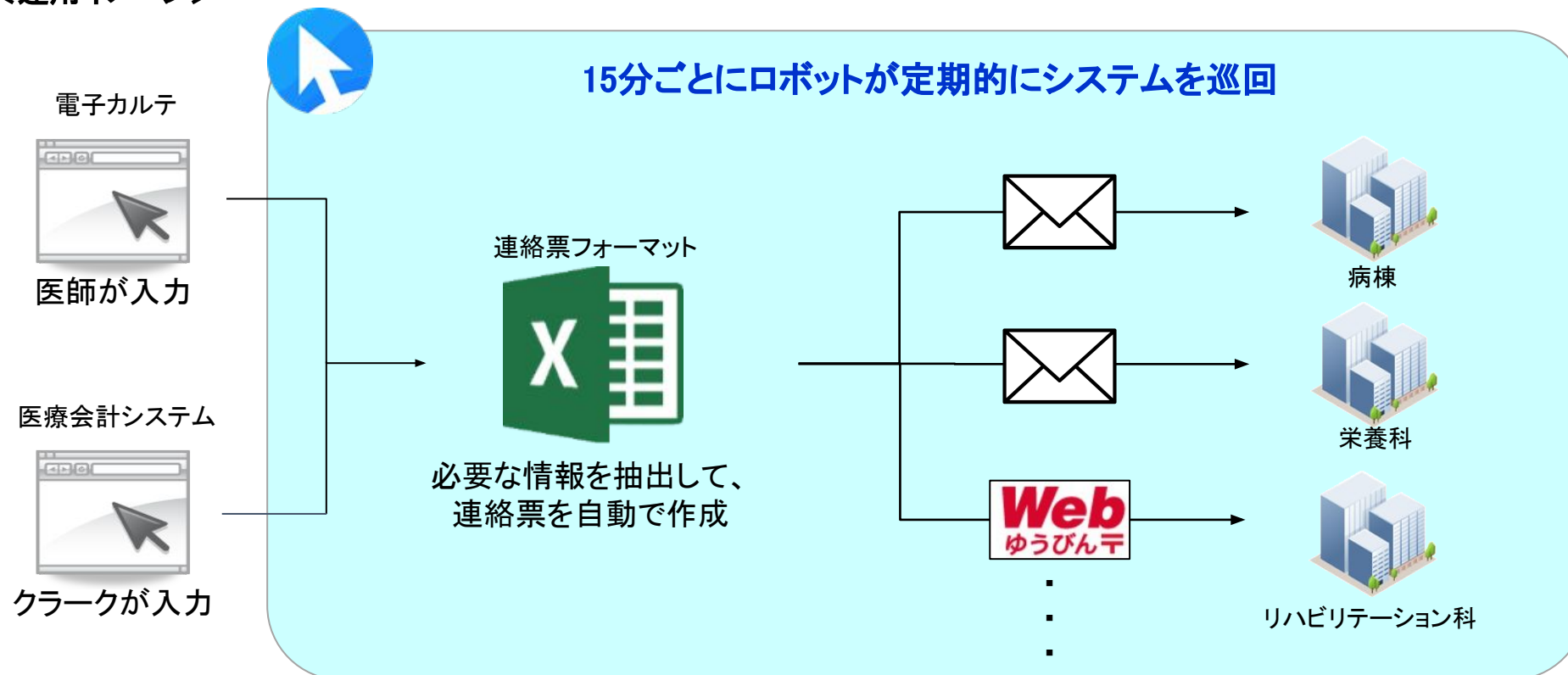
削減時間 : 10時間 × 90% = 月間 9時間

削減コスト: 9時間 × 2,000円/時 = 月間 18,000円 (年間 約22万円)

事例(4/5): 入退院手続き

入退院患者の情報を関連部署(病棟、栄養科、リハビリテーション科など)へ自動で連携・通知します。

<運用イメージ>



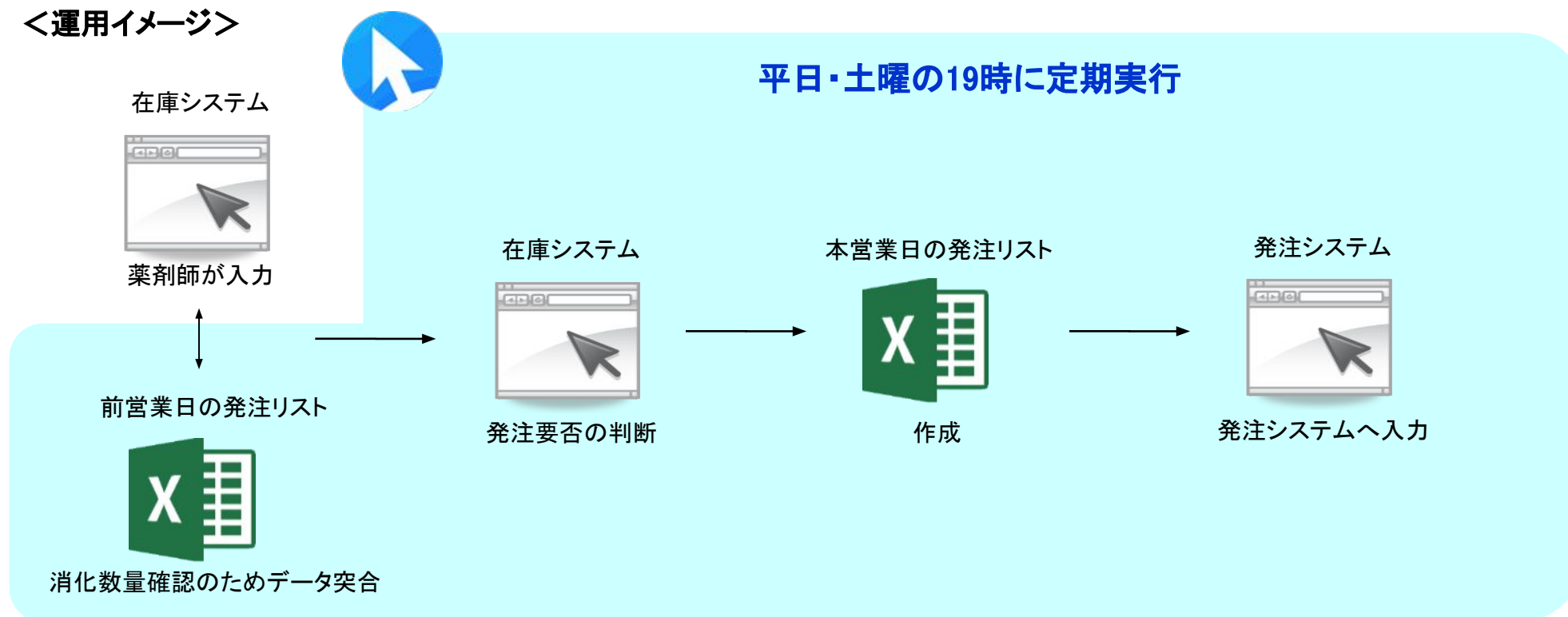
削減時間 : 5分 × 10件/日 × 20日/月 = 月間 約16.7時間

削減コスト: 16.7時間 × 2,000円/時 = 月間 約33,400円 (年間 約40万円)

事例(5/5): 医薬品の自動発注業務

薬剤師の在庫手入力情報と前営業日の発注リスト突合して、医薬品の在庫確認。
発注が必要な品目をリストアップして、発注システムへ自動で入力して発注をします。

<運用イメージ>



削減時間 : (45分 × 90%) × 20日/月 = 月間 13.5時間

削減コスト: 13.5時間 × 3,000円/時 = 月間 40,500円 (年間 約49万円)

その他 病院・クリニックでの適用業務例

その他、自動化の対象として、以下のような業務が対象となります。

電子カルテへの入出力

- 検査会社からメール送付される検査結果データの取り込み
- 診療時間外のバックアップ
- 電子問診票からのデータ連携

診療費計算

- レセプトチェック(専用ソフトの操作)
- 診療科別診療費のサマリ抽出

通知

- 検査システム端末より作業状況(エラー/完了等)をメール通知

各種資料作成

- 診療情報提供書の作成
- 内科の回診用の診療サマリ抽出

診療予約システムの操作

- 次月の診療予約表の更新

院内物流管理システムの操作

- 薬品発注書の一括作成
- 発注リストと納品リストの突合
- 倉庫内ピッキング表の作成
- 棚卸記入数量集計リストの作成

シフト・業務分担の調整

- ソフト希望未提出者への督促
- 診療科ごとの担当看護師の割り振り

院外へのデータ入力

- NCDやHER-SYSへのデータ入力

バックオフィス関連

- 診療報酬結果の社内データとの突合
- 職員の異動情報を各システムへ登録
- 職員の労働時間集計

これからも AIエージェント + ロボオペレータで
医療業界の DXを加速していきます

ご清聴ありがとうございました



PKSHA

ASSOCIATES